

自己点検・評価表

実施日:令和8年3月3日

学校名:専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

1. 学校の教育目標

「いきもの」を「しあわせ」にするプロを育てる学校として、動物を愛し、心豊かな社会作りに貢献できる人間の育成。動物を愛する心が、知識と技術の研鑽につながり、人と動物の絆がより一層深まります。本校では、知識と技術がしっかりと磨かれるように講師陣や施設、設備の充実に力を注いでいます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

実習授業で触れ合うことのできる多種多様な動植物を学生と一緒に育て、思いやりのある温かな心と人と動植物が共生できる心豊かな社会を構築する人材育成を目標としています。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. <教育理念・目標>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか	④	3	2	1	学則・入学案内書
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1	入学案内書・研修関連資料
1	3	学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	学則・入学案内書・入学前保護者説明会・保護者セミナー

①課題

本校の理念や教育方針を周知し、保護者との協調体制を確立させることが課題と思われます。また教育に関わる人材(学校スタッフ)が増え、スタッフ間、チーム内における教育方針の理解と共有が重要と考えます。

②今後の改善方策

今年度もチーム(コース)主体の組織づくりを進めてきました。教育目的・育人人材像の明確化をさらに深めるため、今後も各コースの育成する人材像、教育方針を構築していきます。また教員に求める指導方針、学生に求める行動指針を刷新していきます。

③特記事項

1、2026年度開始にあたり、キャッチコピーの「『いきもの』を『しあわせ』にする、プロを育てる学校」と教育理念に紐づく「教育方針(3つのポリシー)」「行動指針(学生に求める意識と行動)」「AIK教員に求める意識と行動」を策定しました。2024年度から策定し刷新を継続してきました各室、各チームの育成したい人材像、教育方針の具現化もでき、学校としての教育方針の土台が完成しました。
2、保護者に対しては入学前の学校説明会の中で「保護者説明会」として説明の場を数回設けております。また、2024年度より入学直前(3月)に保護者向けに「入学前保護者説明会」と題し、オンデマンドでの動画配信を各コースで実施しています。入学後は就職準備の要素を含めた保護者説明会をオンデマンドで開催し情報を発信しております。
3、2026年度より学生と保護者との新たなコミュニケーションツールを使用します。保護者とも直接連絡が可能になるので在校生とともに有効活用していきます。

2. <学校運営>					適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1			重点方針
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1			財務関連資料・重点方針
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1			自己点検・評価報告書、情報公開
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	④	3	2	1			就業規則・人事考課表
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1			自己点検・評価報告書・個人情報保護規定
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1			情報公開資料(HP掲載)

①課題

教育活動に関する情報公開として、授業計画書(コマシラバス)の公開準備をしています。教育の質保証を公開する情報として最適と考えております。

②今後の改善方策

授業計画書(コマシラバス)の公開準備をしていますので2026年4月公開に向けて準備しています。

③特記事項

特にありません。

3. <教育活動>					適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1			重点方針・カリキュラム表・WEBシラバス・教育課程編成委員会議事録
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1			カリキュラム表・WEBシラバス
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1			カリキュラム表・WEBシラバス・カリキュラムツリー
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④	3	2	1			WEBシラバス
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④	3	2	1			授業改善アンケート
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	④	3	2	1			授業改善アンケート
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1			教育課程編成委員会議事録
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1			ライフマニュアル・WEBシラバス・卒業進級審議会議事録
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1			授業スケジュール(講師毎)、研修関連資料
3	10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか	④	3	2	1			業界団体加盟リスト、教育課程編成委員会議事録
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1			研修関連資料
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	4	③	2	1			WEBシラバス、AIKENハンドブック
3	13	講義に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1			カリキュラム表、WEBシラバス、コアカリキュラム対照表

3	14	実習に関し、機構推奨コアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1	カリキュラム表、WEBシラバス、コアカリキュラム対照表
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	③	2	1	入学試験面接記録、個人面談記録
3	16	動物を使用する実習、実験等に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	4	③	2	1	動物取扱規定
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	④	3	2	1	文書管理規定・学生情報システム(Nacs)権限設定

①課題

1. 全学科のカリキュラムはある程度体系的に編成されているが、動物看護科で整備してあるコマシラバスのようなエビデンスが他学科において不足しています。今年度中に整備し、2026年度に公開し学生に示せるよう準備しています。
2. 職業教育に対する外部関係者からの評価については教育課程編成委員会を充実していく必要があります。

②今後の改善方策

1. 2023年度より動物看護科だけではなく、動物管理科、植物管理科においてもコマシラバスの整備を行っています。2026年度開始までに全科目での整理を目指します。
2. 教育課程表を具現化したカリキュラムツリーを将来的に作成する方針です。
3. 今後職業実践に関わるメンバーを年々充実させていき、企業連携含め実習先現場の指導者の声も積極的に取り入れていきます。

③特記事項

動物看護科は、専門的な実践教育を行うため千葉県獣医師会との連携を図り、獣医師の先生方による授業を行っています。

4. <学修成果>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
4	1	就職率の向上が図られているか	4	③	2	1	学校基本調査・内定関連資料
4	2	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	統一認定試験結果一覧
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	4	③	2	1	年度末在籍集計表
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	4	③	2	1	外部イベント・SAM活動
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	③	2	1	成績証明書、WEBシラバス
4	6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要項事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	4	③	2	1	委託協定書
4	7	総合臨床実習(インターンシップ)について、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法等を事前に決め、評価しているか	4	③	2	1	インターンシップ依頼書、インターンシップ報告書

①課題

一部資格試験における資格取得率の向上が必要です。

②今後の改善方策

就職率・資格取得率を維持向上させるため、就職状況・授業計画・内容の改善を検討します。
国家資格になった愛玩動物看護師は、通常の授業の他に、資格対策として文科省が推奨するCBT(コンピューターにおける試験)システムを活用し、学生それぞれの習熟度に合わせた学習を促しています。

③特記事項

業界団体が主催するイベントについては企業との関係性、地域貢献の視点、また学生のインターンシップにおける教育的視点から参画や参加の必要性を判断し随時対応しています。

5. <学生支援>					適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4	③	2	1			AIKENハンドブック、保護者セミナー
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1			健康診断記録、専任カウンセラー、健康促進チーム
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1			奨学金制度案内、各種制度
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1			コース担任制度、専任カウンセラー 入学後相談室
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1			業界インターンシップ SAM活動
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4	③	2	1			提携寮紹介・ひとり暮らし応援制度
5	7	保護者との連携は適切か	4	③	2	1			保護者セミナー、保護者発送文書
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1			ちば愛犬同窓会
5	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	②	1			
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1			高校連携事業(職業教育)

①課題

生涯就職サポートとして卒業生への支援体制は行っていますが、学園と卒業生全体の連携や情報発信については具体的な取り組みはありませんでしたが、今年度ドッグトレーナーコースにおいて「ちば愛犬同窓会」を企画し催行しました。

②今後の改善方策

現在、ドッグトレーナーコースの同窓会企画のほか、動物看護コース・トリマーコースにおいても卒業生向けの機会を作り実行しています。今後も卒業生が卒業後も学校との連携が取れる仕組みや交流ができるシステムを検討しています。

③特記事項

1、卒業生との繋がりについては今後各コースごとでスタートしていきます。可能性として、動物看護コースは千葉県獣医師会と連携し卒業生リスト管理とともに学校等での研修会の開催等卒業生にとってメリットのある集まりの機会をもつことを検討しています。国家資格である愛玩動物看護師の模擬試験については可能な範囲で卒業生に情報配信し、一部来校、受験しております。
2、2026年度より新たな学校と学生のコミュニケーションツールを導入します。機能的向上、紙媒体削減のほかに保護者とも連携(保護者登録案内を発信)し、学校活動や学生管理等保護者とも共有し、運営していく方針です。
3、夜間部募集を停止しました。社会人のニーズに合わせたコース設定でしたが需要が極端に減り停止に至りました。今後企業人育成等社会のニーズに対応する教育機関としての考え方が課題となります。
4、広報室フロアに「入学後相談室」を設置しました。入学者が入学前にオープンキャンパス等で接点のあった広報室職員とコミュニケーションがとれる環境を作りました。

6. <教育環境>					適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1			施設・設備リスト、時間割表
6	2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1			災害マニュアル、備蓄品リスト
6	3	実習室には検査に必要な設備が備わっているか	④	3	2	1			器具・設備リスト
6	4	基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が使用できるか	④	3	2	1			時間割表、PDリスト
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4	③	2	1			校内配置図、AIKENハンドブック
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4	③	2	1			備品リスト、管理点検関連資料
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	③	2	1			時間割表、設備予約システム
6	8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	4	3	②	1			

①課題

1. 学生数、授業数に対する動物の数が少し不足しています。動物年齢の若返りを図りながら適正な頭数を維持していく必要があります。
2. 学生数増加に対する教室使用、またロッカー使用状況の把握と見直しが必要になります。
3. 図書室のスペース確保
4. 海外研修制度の再開(過去はハワイ・オーストラリア)

②今後の改善方策

1. 犬、猫、小動物すべてのパートナーアニマルの健康管理・環境を引き続き充実させていきます。また、外部のブリーダーや企業と連携し多様な動物を介した学習ができるように取り組んでいく。
2. 学生数が増えたコースでは、施設自体の増築や改築を行い、1/2クラス運営、更衣室、ロッカーの増設をしていきます。
3. 図書室のスペース拡大と内容の充実
4. 海外からの研修の受け入れは行っているが、情勢を判断して海外研修の再開を検討していきます。

③特記事項

2025年度はおゆみ野ドッグサイトの一部校舎の改築により大教室や学生休憩スペースが充実しました。併せて、動物飼育コースの実習施設を充実させています。また千葉キャンパスにおいては猫舎を移転し、ワンフロアに全頭数を飼育する新たなキャットフロアを設置しました。併せて、大教室のAIKホールを別棟へ移設し、動物も入室可能な環境にして授業運営をしています。

7. <学生の受入れ募集>				適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか		④	3	2	1	入学案内書、募集要項、入学 時関連ツール
7	2	学納金は妥当か		4	③	2	1	募集要項、決算報告書
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか		4	③	2	1	学生情報システム(Nacs)

①課題

入学希望者と保護者にとってより情報が入手しやすい環境を整えます。

②今後の改善方策

特にありません。

③特記事項

社会的な物価高の影響により、様々なモノが高騰しております。学納金の値上げも継続的に実施しておりますが、教育の質を落とさないよう適正な教育環境を整えていきます。

8. <財務>				適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		4	③	2	1	財務関連資料
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		4	③	2	1	予算関連資料
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか		④	3	2	1	会計監査関連資料
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか		4	③	2	1	情報公開(HP)

①課題

特にありません。

②今後の改善方策

特にありません。

③特記事項

特にありません。

9. <教育の内部質保証システム(法令等の遵守)>					適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1			文書管理規定
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1			個人情報保護規定
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1			内部監査計画書、内部監査報告書
9	4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1			情報公開(HP)
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	④	3	2	1			人事考課表(電子システム)
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	4	③	2	1			人事考課表(電子システム)
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか	4	③	2	1			人事考課表(電子システム)

①課題

文書管理において、一部不足しているエビデンスがあります。

②今後の改善方策

文書管理以外に、決済の流れを含む決済規定の整備を検討します。

③特記事項

人事考課の見直しを図り、目標、評価結果の面談を各職員と実施しており、適切に評価運営を行うようにしています。

10. <社会貢献・地域貢献>					適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1			SAM活動、キッズハッピープロジェクト、中学生受入れ

①課題

特にありません。

②今後の改善方策

特にありません。

③特記事項

・社会貢献・地域貢献・ボランティア活動は積極的に行っております。
・ちばSDGsパートナー登録制度に登録を行い、SDGsの活動を学校教育の観点で行っております。
・地域貢献と実践授業として、動物関連で行える一般向けのトリミングや犬のしつけ(保育園)や小動物のふれあい活動(ふれあい動物園)を行っています。

11. <国際交流(必要に応じて)>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行い、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1	韓国留学生受け入れ
11	2	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1	

①課題

学習成果が国外でも評価される取組を行います。

②今後の改善方策

海外でも活躍できる人材を育成していきます。

③特記事項

韓国・ウソン情報大学の留学生受け入れを実施しています。また不定期で台湾(国の農業部機関)からのアプローチがあり随時対応しております。